

ちばセンセイの健康ワンポイントアドバイス

あっという間に8月です。7月末から1週間の休診をさせて頂きましたが、夏休みと言うことではなく、北九州の産業医科大学で産業医（会社の社医みたいなもの）の勉強をしてきました。日常診療にも活かせられれば良いと思っています。

さて今回は、糖尿病についてもう少し詳しく説明していきます。糖尿病には大きく分けると、4つに分類されます。1型糖尿病、2型糖尿病、二次性糖尿病、妊娠糖尿病（厳密に言うと妊娠糖尿病は糖尿病の診断基準を満たしていない糖尿病）です。

1型糖尿病は、インスリンの分泌に関与する膵臓のβ細胞が破壊されたことで、インスリンの分泌量が絶対的に不足してしまう糖尿病です。自己免疫が関係していたり、原因がわからない場合もあります。10~20代ぐらいで発症することの多いタイプです。

2型糖尿病は中高年以降に発症することが多いのですが、最近は若い方の2型糖尿病も増えてきています。インスリンの分泌量が少なくなったり、インスリン抵抗性により血糖が下がりづらくなるものがあります。

二次性糖尿病は、他の病気が原因で糖尿病になったものです。人間の体ではさまざまなホルモンが作られています。血糖を下げる働きがあるのはインスリンだけです。従って、甲状腺機能亢進症（バセドウ病など）で甲状腺ホルモンが過剰になり、その影響で血糖が高くなり糖尿病と診断されることがあります。このような場合には、その原因の病気を治すことによって、糖尿病の状態から抜け出すことができる場合もあります。

妊娠糖尿病は、上にかいてある通り、本当の糖尿病の基準より厳しい数値で診断されます。それは、そのぐらゐの数値であっても、赤ちゃんに影響が出ることがあるからです。サイダーを飲んで血糖を測定する検査（75gOGTT）で正常型と判定されるような場合でも、妊娠中であれば、妊娠糖尿病と診断されることもあります。

大楽毛 2-2-27
ちば内科クリニック
院長 千葉 淳
Tel.64-6650